

令和8年1月18日  
現地説明会資料

## 新拠点整備に伴う発掘調査

# 令和7年度 曽根田遺跡発掘調査現地説明会資料

## はじめに

岡山県赤磐市教育委員会では、新拠点整備に伴い11月から曾根田遺跡の発掘調査を行っています。

曾根田遺跡は赤磐市岩田に所在し、山陽団地がある丘陵南東麓の緩やかな傾斜地に位置します。周辺には、用木山遺跡や惣岡遺跡、便木山遺跡、岩田14号墳などの山陽団地内の遺跡群、国史跡の両宮山古墳と備前国分寺跡をはじめとする西高月遺跡群などの重要な遺跡が所在し、歴史遺産の集積地となっています。

曾根田遺跡の調査成果

調査区は、傾斜地に広がる曾根田遺跡の南端近くに位置します。調査区内は北から南に向かって低くなり、南西部は低位部となります。

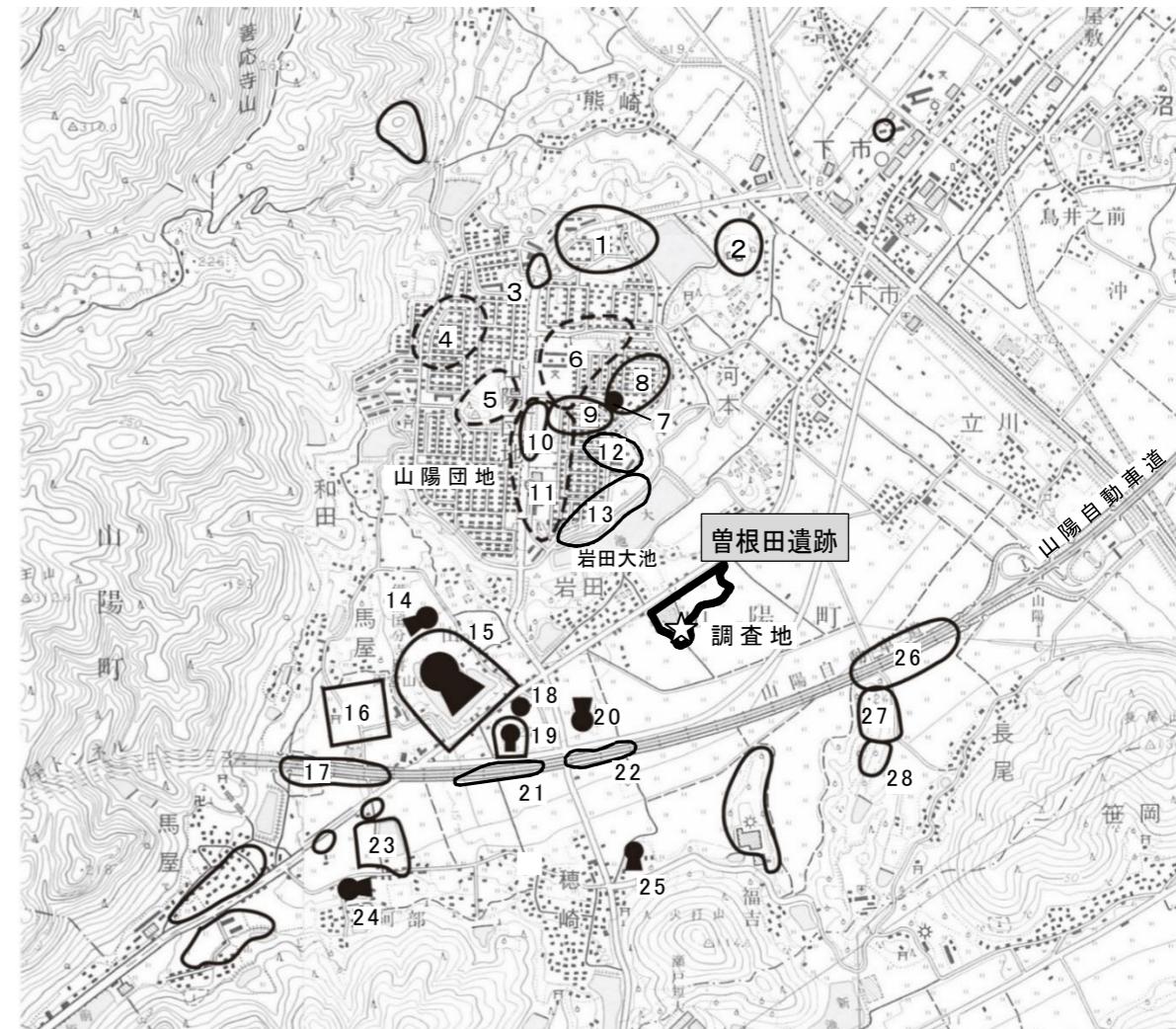
これまでの調査では、弥生時代中期（約2,100年前）から古墳時代後期（約1,500年前）にかけての遺構や遺物が見つかっています。弥生時代では、中期から後期（約1,900年前）の多数の柱穴や土坑、落ち込み、溝等を確認しました。

古墳時代では、前期（約1,700年前）と考えられる豎穴住居をはじめ、前期から中期（約1,600年前）の柱穴や土坑、溝、たわみ、後期の掘立柱建物や柱穴、溝等を確認しています。低位部周辺で見つかった土坑の一部は、井戸となる可能性があります。また、中央で見つかった掘立柱建物は $4 \times 2$ 間の側柱建物です。

出土した遺物には、大量の弥生土器や土師器のほか、須恵器、石器、土製品、銅製品、桃核などがあります。

おわりに

今回の調査によって、弥生時代中期から古墳時代後期にかけての集落が平地に広がる曾根田遺跡の様子が明らかになりつつあります。その存続期間が重なる丘陵上に営まれた山陽団地遺跡群や、周辺古墳群との関連など、赤磐市の原始社会を考えうえでの貴重な成果であるといえます。



第1図 鬼根田遺跡と周辺の遺跡 (1/25,000)

	B.C500年	A.D500年			A.D1000年			A.D1500年		A.D2000年		
時代区分	縄文時代	弥生時代		古墳時代		飛鳥時代	奈良時代	平安時代	鎌倉時代	室町時代	江戸時代	明大昭平令治正和成和
	晚期	前期	中期	後期	前期	中期	後期					
	原 始				古 代				中 世		近 世	近・現代

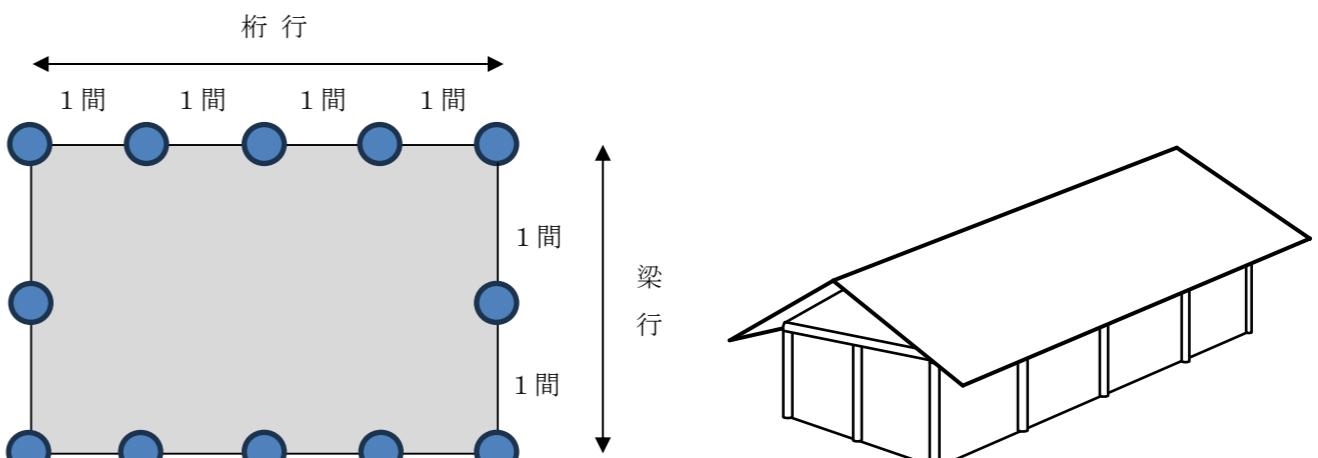
曾根田遺跡の時期



## 第2図 関連年表

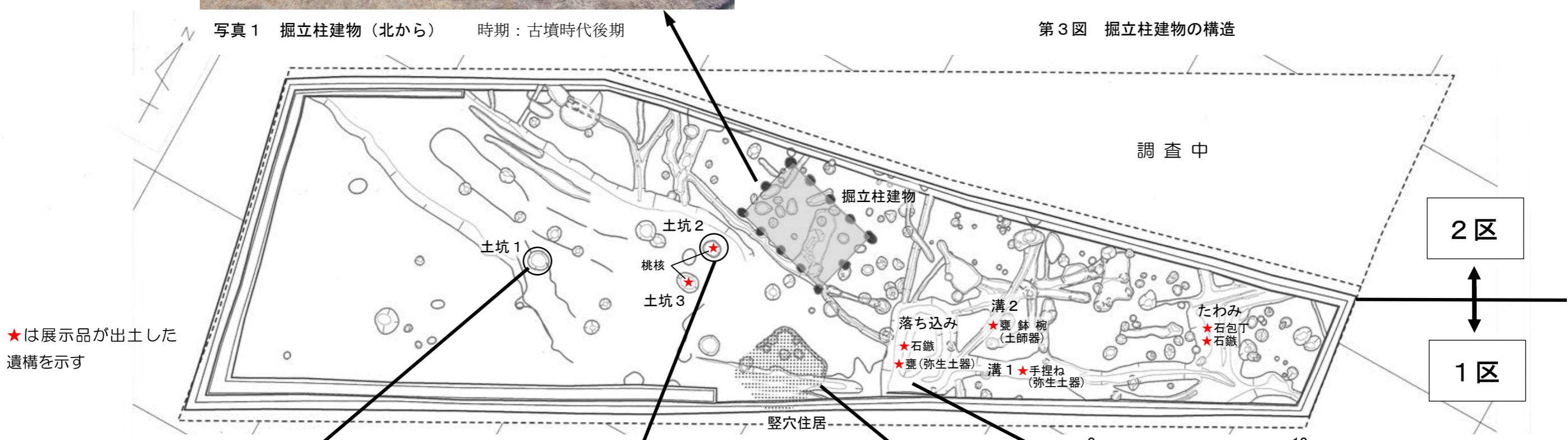


写真1 挖立柱建物（北から） 時期：古墳時代後期



「桁行4間・梁行2間」の平面

第3図 挖立柱建物の構造



★は展示品が出土した  
遺構を示す



写真2 土坑1 (断面：西から)  
時期：古墳時代中期



写真3 土坑2 (北から)  
時期：古墳時代前期



写真4 竪穴住居 (北から)  
時期：古墳時代前期か



写真5 落ち込み (東から)  
時期：弥生時代中期～後期